

2014年1月21日

子育て・まちづくり支援プロデューサー 通信



第26号

【発行】特定非営利活動法人あい・ぽーとステーション 代表理事 大日向雅美

〒106-0031 東京都港区西麻布 2-24-25-509

TEL 03-6657-8539 FAX 03-3499-8539

E-mail: station@ai-port.jp URL: <http://www.ai.port.jp>

人材養成事業推進室

(室長 古閑、講座運営主任 齋藤、高橋)

「フレンズビレッジ千代田」活動に参加したまち・プロの皆様からの感想をお伝えします。

<12月26日 山田安孝>

高校生を担当しました。彼は口癖のように「転ばないよっ、だいじょうぶだよっ」と常に語りかけて行動をしていました。その都度、私も「そうだねっ、転ぶといたいからねっ」と相手に合わせて伝え返しました。引き渡しの際に母親に聞いたところ、雪で滑らないように自分に言い聞かせているとのことでした。神田明神にお参りに行くころは、本人から私の腕に絡ませたり、肩を組むようなこともあり、一友人のようになり、一日が短く感じられました。また彼はトランポリンが好きで長い時間飛び続けていました。流石高校生だけあって体力があると感じました。

<12月26日と1月6日の2日間 鈴木康年>

2日間参加をして、女のお子さんは女性でも十分対応できると思いましたが、中学生、高校生の男のお子さんは私たちまち・プロの力も十分役にたつのかなと感じました。また、リーダーからの「多くの言葉より、手での接触が大事です」は勉強になりました。

<12月26日と1月6日の2日間 高田富士男>

“場面寡黙”の生徒さんを2日間担当させていただきました。2日目には、自由時間に彼の方から遊具箱の中からボールを取ってきて“これで遊ぼうよ”と満面の笑顔で、彼の持てる力をフルに発揮して“態度で示して”くれたことが嬉しかったです。

<1月6日 武部寛聰>

子どもたちは片時も目を離してはいけない。常に、目配り、気配りをしなければいけないということを学びました。

<1月6日 福田崇>

約2時間かけて靖国神社への初詣を歩き通しました。中学2年の彼が言葉を交わすことはありませんでしたが、目的のある行動を、手を握りながら一緒に歩いたことで心が繋がったように感じました。快い疲れと共に充実した時間でした。

お正月ウィークイベントの報告

2014年1月6日より1月11日までお正月ウィークイベントが行われました。

お手伝い頂いたのは、山田(邦)さん、浜本さん、山名さん、佐藤さん、鈴木さん、那倉さん、福田さん、武部です。多くの方に、2回も参加いただきました。出番ではない日に来ていただいた方もいらっしゃいました。

出し物は、獅子舞、和凧(山田さんの労作)、牛乳パック利用の紙トンボ、紙ゴマ、紙ホイッスル、折り紙(浜本さん指導)などでした。メインの出し物だった獅子舞は大変好評でした。演者は黒のTシャツ、バンドナで装い、笛、鈴の鳴り物もあり、いかにも獅子舞風に仕上がりました。外国のお母さん、子どもさんにも人気があり、最初は泣き出す子どももいましたが、慣れてくると、指を噛み、頭を噛むなどしたら、大騒ぎで、皆さん写真を盛んに撮られていました。大きな獅子を怖がる子どもには、折り紙で、指人形の獅子を作りました。

紙トンボ、紙コマの手作りおもちゃも評判がよく、マーカーでの色付けに夢中になっていました。それを飛ばしたり、回したりして、喜んで遊んでいました。

これからも、季節ごとに楽しいイベントを開きたいと思います。アイデアをお寄せください。

皆様のご協力をお願いいたします。

(事業推進室 福田 武部)